

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

女性の健康づくり

な ぶ
7月2日は「ナプちゃんの日」

内容

必要な方に生理用品や失禁用ナプキン及び幼児用パンツをお渡しします。また、女性の健康に関する相談コーナーを設け専門の相談員が対応いたします。



ご来場お待ちしております。

生理用品の無料配布

※なくなり次第終了

配布日時

7月2日(日)

午前10時～午後2時

配布場所

琉球新報社1階エントランス



●主催 / (一社)沖縄県女性連合会 TEL098-884-5333

●共催 / 看護学生支援の輪~つなぐ会 ユニ・チャームメンリック株式会社

●助成 / 公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団・ホームセンターさくもと

●後援 / 沖縄県・(株)琉球新報社・(株)沖縄タイムス社・(株)ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送(株)

作成日：令和5年 4月1 日

令和5年度女性の健康づくり支援事業

事業実施計画要旨

1. 活動組織・団体名

主催：一般社団法人 沖縄県女性連合会

共催：看護学生支援の輪「つなぐ会」

助成：公益財団法人 沖縄県保健医療福祉事業団

協賛：ユニチャームメンリッケ(株) ホームセンターさくもと

後援：沖縄県、沖縄タイムス、琉球新報社、ラジオ沖縄、沖縄テレビ放送

相談講師：琉球大学医学部成人、がん看護学准教授 大湾知子氏

2. 活動目的

・7月2日を「ナプちゃん」の日と定め、生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を広め、女性が心身ともに健康的な社会生活を送ることが出来るよう支援を行う

- ・顕在化している生理の貧困問題について、生理用品を必要としている女性に対し生理用品(失禁用含)の無償配布を行い、また、精神的な不安や負担を改善解決していく。
- ・生理に対する社会の理解度の低さ、外国に比べて日本の取り組みが遅れている現状を踏まえ継続的な社会活動の取り組みが必要と考え活動を展開
- ・SDGsジェンダー平等の実現するためのステップとする。

3. 対象人数

約1,000人に対し支援を行う

4. 実施内容

- ・ポスター(50枚)チラシ(1,000枚)女性(婦人)会・社会福祉協議会・関係機関へ配布及びメディア(琉球新報・タイムス・ホームプラザ・レキオ・NHKをとおして告知し案内
- ・配布先：生理用品ナプちゃんを必要としている方へ無償配布

5. 実施期間・場所

日時: 令和5年7月2日(日)～7月2日(日)午前10時～午後2時

場所: 琉球新報社 1Fロビー

6. 本事業展開所感

生理は、12歳前後から50歳前後までの間、女性だけにやってきます。

毎月5日間が生理期間だとすると、一生で約2400日以上 of 生理と付きあっていくことになります。その間の経済的負担、身体的負担、精神的負担は計り知れません。また生理痛など個人差はあるものの、多くの女性が経験しており、大きな負担や、人によっては深刻な問題となっています。

生理中、毎回もしくは頻繁に仕事や学校にいけない人もいるほか、生理が理由で様々な機会を制限されたりします。

女性が経験する生理の負担は、男性には理解しにくいかもしれません。しかし「生理」は女性だけの問題ではなく、男性にも理解すべき問題として社会全体で捉える必要があります。

本事業は、生理用品を配布、提供するだけでなく、同時に精神的な不安や負担を改善・解決していくため、物品の援助と同時に精神的援助を行います。

相談ブースを設置し専門医が対応いたします。(無料でご相談に応じます。)

目指す活動

- ・生理の尊厳、生理の貧困によるサポート、専門者への架け橋
- ・生理用品の無償配布等の支援、企業や支援団体、行政との連携
- ・生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を広める
- ・生理用品の無償化課税廃止、税率軽減等を目指す
- ・小中高校・ほか施設等々トイレトペーパーのように自由に使用できる無償配置

生理用品「ナプちゃんセット」を無料配布状況

1000人に支援（生理用品、ベビー用オムツ、乾麺、パン、等）

